

特別会計・水道事業会計

特別会計は一般会計と区別し、それぞれ特定の財源で事業を運営しています。7つの特別会計全てにおいて、黒字となりました。

また、水道事業会計は、水道料金を財源として、独立採算により事業を運営しています。総収益6億7,710万円から総費用5億8,268万円を差し引いた純利益は9,442万円となりました。

特別会計

※端数処理のため計が一致しない部分があります

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険 特別会計	30億2,283万円	30億843万円	1,440万円
事業勘定 診療施設勘定	2億7,512万円	2億7,510万円	2万円
下水道事業特別会計	7億7,520万円	7億5,836万円	1,683万円
生活排水処理事業特別会計	6,696万円	6,625万円	71万円
簡易水道事業特別会計	9,397万円	9,215万円	182万円
土地区画整理事業特別会計	10億7,781万円	10億4,475万円	3,306万円
介護サービス事業特別会計	139万円	135万円	4万円
後期高齢者医療特別会計	3億302万円	3億214万円	88万円
特別会計 合計	56億1,630万円	55億4,853万円	6,776万円

水道事業会計

区分	金額
収益的収支 (消費税抜き) ※水道水をつくり送るための収益と費用	
総収益 (水道料金など)	6億7,710万円
総費用 (浄水場の維持管理費など)	5億8,268万円
純利益	9,442万円
資本的収支 (消費税込み) ※水道設備を整備するための財源と費用	
区分	金額
収入 (国などからの補助金など)	6億4,649万円
支出 (配水管の布設工事費)	9億945万円
収支	▲2億6,296万円

※資本的収支の不足額2億6,296万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金および当年度分消費税資本的収支調整額で補っています

平成30年度

決算

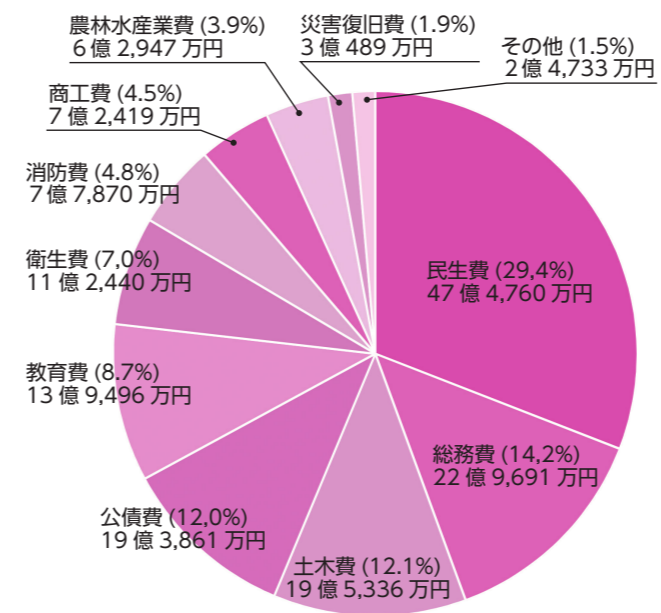
このほど、平成30年度決算が9月定例議会で認定されました。第二次二戸市総合計画3年目の年として、人口減少にあっても、市民が生きがいや豊かさを実感し、住みよく暮らしやすい環境整備を図るとともに、健全な財政運営に努めました。

一般会計

市の行政運営の基本的な経費を計上した一般会計の決算は、歳入総額が168億6,402万円、歳出総額は161億4,042万円となり、歳入歳出の差引額は7億2,360万円となりました。重点項目として、「漆産業の振興」や「地方創生の推進」など5項目を掲げ、第二次総合計画を着実に推進しました。

歳出の特徴

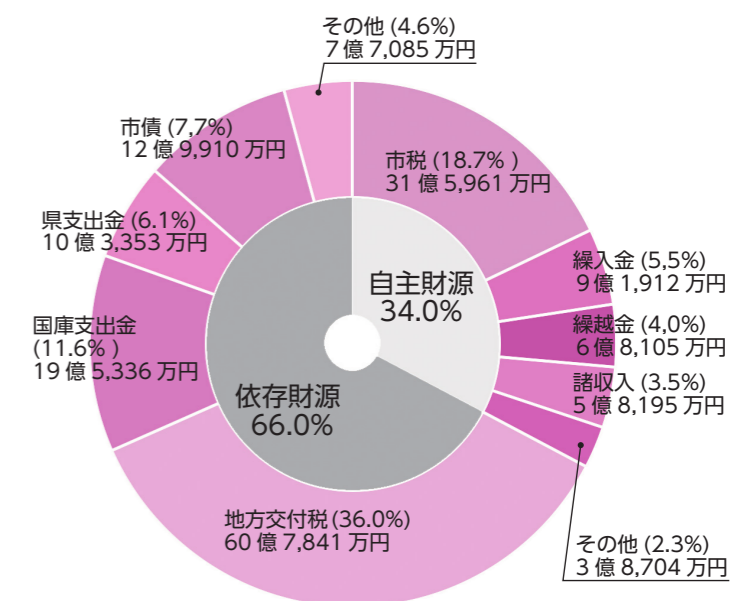
民生費や商工費の施設整備、教育費の土地購入などが完了したため、前年度比3.9%、6億5,502万円の減になりました。



歳出 161億4,042万円

歳入の特徴

前年度に比べて、地方交付税や国庫支出金、市債が減少したことにより、前年度比3.5%、6億1,248万円の減となりました。



歳入 168億6,402万円

財政健全化判断指標は 全ての指標で 健全な水準です

地方公共団体の財政健全度を判断する健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っています。(表1)
また、公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率である資金不足比率は、いずれの事業も資金不足がないため「-」となります。(表2)

【表1】健全化判断比率

区分	比率		早期健全化基準	財政再生基準
	平成29年度	平成30年度		
実質赤字比率	-	-	13.39%	20.0%
連結実質赤字比率	-	-	18.39%	30.0%
実質公債費比率	11.4%	11.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	42.5%	41.8%	350.0%	

※「-」は実質赤字額、連結実質赤字額がないことを示しています

【表2】資金不足比率

区分	比率		経営健全化基準
	平成29年度	平成30年度	
水道事業会計	-	-	20.0%
下水道事業特別会計	-	-	
生活排水処理事業特別会計	-	-	
簡易水道事業特別会計	-	-	

※「-」は資金不足が生じていないことを示しています

【第三セクターの決算状況】

区分	出資金総額	うち市からの出資金額	出資割合	経常利益	純資産
(株)カダルミライ	1,030万円	520万円	50.5%	▲192万円	823万円
(株)カダルエステート	300万円	151万円	50.3%	▲61万円	237万円

(株)カダルミライと(株)カダルエステートの経常損益がマイナスとなっているのは、来年度の収益施設開業を目指して現在準備中であり、設立初年度のため設立経費などの固定支出があるためです。

今後は、開業後に安定的な経営がされるよう株主として経営状況を把握しながら、適切な支援に努めていきます。

平成30年度一般会計の主な事業

漆振興事業…1億4,694万円

漆の振興を図るため、漆掻き職人の育成や漆林の整備、木地師の育成などを行いました。

公民連携まち再生事業…4,218万円

金田一温泉周辺地区に新たな民間投資を誘導するための公園施設等の概略設計や民間資金導入可能性調査、まちづくり会社の設立支援などを行いました。

観光地づくり推進事業…3,388万円

二戸の風土や背景を伝えながら産業体験を行う「にのへ型テロワール」への取組みやエコツアーを実施しました。

病児等保育事業…2,200万円

子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援するため、病児保育や病後児保育を実施しました。

小中学校文化・体育大会出場費補助事業

…1,488万円
全国中学校総合文化祭に出場した金田一中学校をはじめ、県大会以上の各種大会の出場に要する経費の一部を補助しました。

地域包括支援推進事業…1,355万円

地域支え合い推進協議体の設置や生活支援コーディネーターの養成など地域包括ケアシステムの連携体制構築に向けた基盤整備を行いました。